

2022年4月3日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第64巻第53号(通算3281号)  
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま ひと とも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

主任担任教師・牛田 匡 牧師  
担任教師・水谷 憲 牧師  
隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」  
を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

じゆなんせつ だい しゅじつれいはい  
**レント(受難節) 第5主日礼拝**

れいはい ちゆうけいはいしん  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まねき ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 126編 3-4節

さかん び か にな じゅうじか せつ  
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-5節のみ) (©JASRAC)

しょうとう ことば  
消灯の詞

さかん び か ばん こうかい わた さん び か かい てい い いん かい  
賛美歌 21-312番「紅海を渡り」(©讚美歌改訂委員会)

せい し しょ しょう せつ  
聖書 イザヤ書 43章 16-21節

いの  
お祈り

さかん び か ばん とら たみ  
賛美歌 21-158番「捕われの民」(©JASRAC)

みち そうぐう おかじま ちひろ でんどうし むこいじま でんどうし  
メッセージ「道との遭遇」 岡嶋 千宙 伝道師 (向島伝道所)

さん び か ばん し ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 21-462番「はてしも知れぬ」(©著作権消滅)

ユーカリスト うしだ ただし ぼくし  
聖餐 牛田 匡 牧師

きやうどう いの へいわ  
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さん び か ばん な ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの こうどくぶん  
「主の祈り」による交読文

さ ぎげもの  
献げ物(\*)

は け ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ぶく おかじま ちひろ でんどうし むこいじま でんどうし  
祝福 岡嶋 千宙 伝道師 (向島伝道所)

こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こく ページ さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 126 編 3-4 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

3 主は、私たちに大きな業わざを成し遂げてくださった。

私たちは喜んだ。

4 主よ、ネゲブaに川が流れるように

私たちの繁栄を再びもたらしてください。 (脚注 a: 直訳「の涸れ谷のように」)

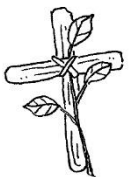
消灯の詞 (参照: ヨハネによる福音書 18 章 17 節)

司式者 イエス様さまのためには命いのちも捨すてるとペトロは言いいました。

みんな 「しかし、イエス様さまが捕とらえられられと怖こわくなりました」

司式者 「あなたも、あの人の弟子ひとではありませしんか」

みんな 「違ちがう、違ちがう、そんな人ひとは知しらない」



聖書 イザヤ書 43 章 16-21 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

16 主はこう言われる。すなわち海の中に道を

荒れ狂う水の中に通り道を作られ

17 戦車と馬、大軍と兵を連れ出し

彼らを皆倒して起き上がらせず

灯心の火を消すように消滅させた方。

18 先にあったことを思い起こすな。

昔のことを考えるな。

19 見よ、私は新しいことを行う。

今や、それは起ころうとしている。

あなたがたはそれを知らないのか。

確かに、私は荒れ野に道を

荒れ地に川を置く。

20 野の獣けものもジャッカルも鷲わしみみずくも、私あがを崇める。

私が荒れ野に水を、荒れ地に川を与え

私の民、私が選んだ者に飲ませるからだ。

21 私はこの民を私のために造った。

彼らは私の誓ほまれを告げるであろう。

## 《先週のメッセージより》2022年3月27日 受難節第4主日礼拝

「闇から光が輝き出でよ」

牛田 匡 牧師

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章 1-12節

今回の聖書の言葉の中でも、「私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、迫害されても見捨てられず、倒されても滅びません」(8-9)という言葉は力強く、様々な行き詰まりの際に、励まされ、力づけられる言葉です。どうしてそのようなことが可能なのか、というと、それは死を超えられたイエス・キリストの命が、自分自身の中にも共に生きているからだ、とパウロは記しています。もちろん、パウロがこのような手紙を書いた背景には、パウロ自身がそれまでに受けたありとあらゆる苦難や迫害があり、行き詰まりがあり、途方に暮れ、希望を失ったことが何度もあったのだと想像します。「もうダメだ。自分はもう生きていけない」と思ったにもかかわらず、それでも尚、今も自分はこうして生きている。それは自分が自分の命を生きているのではなく、そこに神様からの命、イエス様の命が生きているから、生かされているんだということ。そこからこの確信に満ちた言葉が生まれたのではないかと思います。

今、世界は戦争という混乱の中にあります。どこに平和に向かう出口、暗闇の中の光があるのかが分かりません。しかし、暴力に満ちた世界の中で、目の前の暴力から目を背けるのではなく、諦めて無抵抗のまま犠牲になるのではなく、暴力で立ち向かうのではなく、非暴力で立ち向かうこと。それは今から2000年前にローマ帝国やユダヤ社会の暴力に対して、イエス・キリストがその言葉と振る舞いを通して抵抗したことそのものでした。私たちがイエス・キリストと共にあって、共に生きるとは、その死も命も共にしているということです。だからこそ「長い物には巻かれろ」ではなく、事実を見ないように目を背けるのではなく、どこに神様の御心があるのか、どこに平和を造る道があるのかを探したいと思います。

「闇から光が輝き出でよ」(6)と言われた神は、この八方ふさがりにも見える世界に、暗闇に思える中に光を創り出されます。また私たち一人一人の心の中にも光を灯してください。だからこそ土の器に過ぎない私たちは、その与えられた命を自分のためだけに生きるのではなく、神様のために生きる者へとされていきます。この狂った世界の中で、戦争という暴力、命の傷つけ合いが一刻も早く収められるように、そして平和を創り出していくことが出来るように、私たちは今日もここから導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 3月27日 受難節第4主日礼拝

礼拝出席 大人 4名 子ども 2名 中継動画再生数 12回  
献金 大人 4,000円 子ども 300円 感謝

礼拝後に、みんなで168個のおにぎりを作り、釜ヶ崎・いこい食堂にお届けして、四角公園で皆さんにお渡しさせて頂きました。どうもありがとうございました。

◎次週 2022年4月10日(日) レント(受難節) 第6主日(棕櫚の主日) 礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は3/2~4/16です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 24編 3-6節 (\*礼拝はインターネットで中継配信いたします)

聖書 マルコによる福音書 11章 1-11節

メッセージ「表通りの子ろば」水谷憲牧師

賛美歌 21-305番 (©JASRAC)、21-510番 (©P.D.)、21-529 (©JASRAC)

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、4月期の「教会を考える会(役員会)」を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。「まん延防止等重点措置」は先週に解除されましたが、依然として感染は続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。

◎公告

次週4月10日(日)の礼拝後に、2022年度定期教会総会を開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、昨年度と同様に書面決議になるかもしれませんが、議案は、以下のように予定しています。

【第1号議案：総会議長及び総会書記選出に関する件】

【第2号議案：組織】(総会成立の確認と宣言)

【第3号議案：2021年度教勢報告の承認に関する件】

【第4号議案：2021年度教会活動報告の承認に関する件】

(含 教会学校(CS)、婦人会、警報・非常時の対応、コロナ対応、慶弔費)

【第5号議案：2021年度教会会計決算の承認に関する件】

【第6号議案：主任・担任・協力教師の2022年度の謝儀等に関する件】

【第7号議案：2022年度教会活動の計画の承認に関する件】

【第8号議案：2022年度教会会計予算の決定に関する件】

【第9号議案：2022年度CS会計予算の決定に関する件】

【第10号議案：教区総会出席議員の選出に関する件】

【第11号議案：その他に関する件】

教会員の皆様は、ご予定ください。

◎ 次週以降の行事予定

|      | メッセージ | 行事                        |
|------|-------|---------------------------|
| 4/10 | 水谷牧師  | 棕櫚の主日礼拝(午後・2022年度定期教会総会?) |
| 4/17 | 牛田牧師  | イースター礼拝・(愛餐会?)            |
| 4/24 | 岡嶋伝道師 | 誕生者祝福式・おにぎり支援             |
| 5/1  | 牛田牧師  | ユウカリスト・教会を考える会            |

